

既存システム流用検討結果 ID:2-1s-00300	作成日付	更新日付	作成者	承認者

1. 事業全体のシステム化戦略、計画との整合性

対象項目	検討内容の評価
①中長期システム化戦略	<p><u>他プロジェクトとの整合性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 別の商品のリニューアルが議論がされており、本プロジェクトの終了後に具体化する可能性が高い。検討においては、別商品単独の議論ではなく、ネットも含めたものに発展すると予測されるが、まだまだ不確定要素が多いため、現段階では本プロジェクトの推進を第一と考えている 既存システムのインフラの老朽化に伴い、ハードウェアの大規模なリプレースが計画されている。具体的な時期については現在詳細計画中だが、本プロジェクトの終了後、もしくはシステムテスト前に行うよう調整している。仮にシステムテスト前の実施になったとしても、アプリレベルの変更は必要ないため、本プロジェクトに与える影響は極めて小さい
②新規システム化計画&既存システム保守計画	<p><u>既存システム保守計画との整合性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> いずれの既存システムも、本プロジェクトのサービスインターゲットである 200X.X 月までは、大規模な改修案件は行わない（最低限のエンハンスは考慮済） また、本件は、担当役員含め事業部側とは合意済みとなっている（今後の再調整は発生しない） <p><u>新規システム化計画との整合性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業部における本年度の新規システム開発は本プロジェクトのみとなり、他の開発との優先順位の調整は必要ない

2. システム関連項目の検討状況

対象ドキュメント	検討内容の評価
①ERP/既存システム流用	<ul style="list-style-type: none"> ERP や ASP の利用（社内類似システムの流用含む）、既存インフラ環境の利用、既存システムからのデータ流用について、事前に検討が行われており方針が決定している
②他システムへの影響	<ul style="list-style-type: none"> 既存システムについては影響範囲の整理ができています。勘定系システムからのデータの受渡しは一方、資料請求管理システムとの I/F は、I/F ファイルレイアウトに変更を加えないことを前提としている
③現状業務フロー（ラフ）&新業務フロー（ラフ）	<ul style="list-style-type: none"> 原稿制作を効率よく進めることを主眼に、新業務フローの設計を進めており、必要なシステム機能についても、その経過からピックアップされたものとなっている
④サービスレベル想定	<ul style="list-style-type: none"> データ量の想定はロジックも明確にした上で一旦検証しているが、より精度を上げて、キャパシティ分析を行うことにしている 新システムのサービスレベルについては次ページを参照
⑤新システムで代替されるシステム	<ul style="list-style-type: none"> 旧制作システムは廃棄処分となる 一部のハードは再利用可能なため、キャパシティ分析の結果如何で、ファイルサーバとして流用する可能性がある
⑥アウトソーシング先への影響	<ul style="list-style-type: none"> 現状目隠しシール付き葉書の印刷をアウトソースしているが、新規システムでも同等データを抽出できるので、影響なし。 インターフェースファイルフォーマットは現状と同じ